

全日本吹奏楽コンクール第49回岩手県大会
第34回岩手県高等学校総合文化祭吹奏楽部門発表会

参 加 要 項

- 1 期 日 平成23年7月30日(土) 高等学校小編成の部、中学校小編成の部
7月31日(日) 小学校の部、職場・一般の部
8月6日(土) 中学校の部
8月7日(日) 高等学校、大学の部
- 2 会 場 一関文化センター(前期) 岩手県民会館(後期)
- 3 主 催 岩手県吹奏楽連盟 朝日新聞社
岩手県高等学校文化連盟 岩手県中学校文化連盟
- 4 共 催 岩手県教育委員会
- 5 後 援 盛岡市教育委員会 一関市教育委員会 岩手県芸術文化協会 NHK盛岡放送局
IBC岩手放送 テレビ岩手 めんこいテレビ 岩手朝日テレビ
エフエム岩手 岩手日報社 岩手日日新聞社
- 6 主 管 岩手県吹奏楽連盟盛岡支部 岩手県吹奏楽連盟一関支部
- 7 審 査 員 前期 (7月30日～7月31日：一関文化センター) *依頼中

後期 (8月6日～8月7日：岩手県民会館) *依頼中

- 8 実施部門 (1) 小学校の部 (人数制限なし) (2) 中学校の部 (50名以内) (3) 中学校小編成の部 (25名以内)
(4) 高等学校の部 (55名以内) (5) 高等学校小編成の部 (30名以内) (6) 大学の部 (55名以内)
(7) 職場・一般の部 (65名以内)
- 9 参加資格 各地区大会において地区代表となった団体
- 10 参加人員、演奏曲、演奏時間、審査・表彰、県代表 (東北大会推薦数)

全日本吹奏楽コンクール岩手県大会実施規定に基づいて行います。各団体に配布している資料集の実施規定を熟読の上、参加してください。特に、参加人員については、各地区予選の参加申込書に記載した人員を超えて申し込むことはできません。ただし、小学校の部で地区予選の参加人員を超過するやむを得ない事由がある場合に限り、認めることがあります。この場合、県大会申込締め切りより前に、県事務局への事前連絡を必要とします。ご注意ください。

※註] 東北大会「中学校小編成の部」「高等学校小編成の部」へは、中学校・高等学校ともに小編成の部から代表を選出します。この東北大会小編成の部は、東日本学校吹奏楽大会の中学校・高等学校の部の予選を兼ねて実施されます。また、東北大会において東日本学校吹奏楽大会に推薦された小学校は、全日本バンドフェスティバル東北大会において全国大会に推薦されません。予めご注意ください。

※上部大会の日程 (カッコ内の数字は推薦数)

■第54回全日本吹奏楽コンクール東北大会

8月27日(土)高等学校の部(4)、28日(日)中学校の部(4)：北上市文化交流センター

9月10日(土)小学校の部(3)、高等学校小編成の部(2)、大学の部(1)

9月11日(日)中学校小編成の部(2)、職場・一般の部(2)：湯沢文化会館 (秋田県)

■第11回東日本学校吹奏楽大会

10月8日(土)小学校・高等学校 9日(日)中学校 *よこすか芸術劇場 (神奈川)

■第59回全日本吹奏楽コンクール

10月22日(土)中学校(3) 23日(日)高等学校の部(3)：普門館

10月29日(土)大学の部(1) 30日(日)職場・一般の部(2)：青森市文化会館

- 11 参加料 小学校、中学校小編成、高等学校小編成 20,000円
中学校、高等学校、大学、職場、一般 25,000円
※久慈・宮古・釜石・気仙支部の団体は免除する。
- 12 運営負担金 参加（出演）者1名につき500円。ただし、指揮者は除く。
※入場料収入に頼ることなく、大会運営を円滑に行うための負担です。ご協力をお願いします。なお、この負担金には傷害保険の掛け金が含まれます。
※久慈・宮古・釜石・気仙支部の団体は免除とする。
- 13 入場券 小学生 1枚 500円
中学生以上 1枚 1,000円
※未就学児の入場はできません。（保護者にも徹底願います）
※入場券では、リハーサル室等のバックステージに入ることはできません。
※入場券の事前販売は出演団体のみに行います。下記の「15 参加料・負担金・予約入場券」の項目をご覧ください。
- (1) 団体長、学校長あてに招待券1枚を2次案内に同封して贈呈します。ご本人様のみの有効とさせていただきます。
- (2) 参加団体には、参加（出演）者リボン（参加者＋指揮者＋3）を受付時にお渡しします。リボンは参加（出演）者、及び楽器運搬補助で参加する団員用で、出演当日のみ入場できます。必ず左肩に付けて下さい。
- (3) 打楽器の運搬補助として別に付添人を必要とする団体は10人まで許可します。参加者とは別にタスキを団体受付で渡しますので着用下さい。運搬終了後は団体の責任者（学校においては引率教員）が速やかに団体受付に返却してください。
なお、運搬補助用のタスキでは客席には入ることができません。
- 14 プログラム 1部 500円
- (1) 参加（出演）者には、1部ずつ贈呈します（指揮者は含みません）。また各参加団体に2部贈呈いたします。今年度は、贈呈用プログラムの事前の郵送は行いません。大会当日にお受け取り下さい。
- (2) プログラムの購入予約は行いません。販売部数は十分用意しますが、万が一売り切れの場合はご容赦下さい。
- 15 参加料・負担金・予約入場券（地区により期日が異なります）
参加料などの送金は下記の指定口座に **盛岡地区・県北地区・中央地区・県南地区は7月13日（水）までに振り込み**、「入場券申込書兼送金報告書（様式3-2）」を作成して下さい。下記、確認・注意事項および入場券申込書および送金報告書の注意事項をよく読んで、手続きを行ってください。
- 【確認・注意事項】
- ① 振込依頼書の依頼の名前は、団体名略称を記入してください。
例）盛岡西高等学校 → 盛岡西高校 （個人名は不可）
※個人名での振込みは、確認作業ができません。必ず団体名でお願いします。
 - ② 入場券申込書兼送金報告書は、振込金受取（振込受付）書のコピーを貼付し、連絡責任者は必ず押印して下さい。
 - ③ 7月14日以降、入場券の枚数の変更や返金はできません。
 - ・購入者の自己都合（主催者側の事情以外）に伴う返金はできません。
 - ・追加で入場券を購入したい場合は、大会当日、各会場でお買い求め下さい。
 - ④ 7月14日以降、参加負担金（出演者数）の変更はできません。
 - ・参加（出演）者リボン発注、保険料納付（参加者数で加入）等、手続きの都合があります。病気、怪我などにより参加（出演）数に変動が生じた場合でも返金できません。予めご了承下さい。

★送金指定口座

銀行名 岩手銀行 本店営業部 (イワテギンコウ ホンテンエイギョウブ)

口座番号 (普) 2055061

名 義 岩手県吹奏楽連盟 事務局長 似内聖

(イワテケンスイソウガクレンメイ ジムキョクチョウ ニタナイセイ)

⑤沿岸地区からの推薦団体は予約入場券を購入することはできません。大会当日会場でお買い求め下さい。

16 提出書類 (

次の①～⑤の書類を盛岡地区・県北地区・中央地区・県南地区は7月14日(木)、沿岸地区は22日必着で大会事務局宛提出して下さい。

(注:郵便速達に限り各しめ切りの前日の消印があれば受け付けます。また、持参する場合16時までとします。窓口は盛岡四高事務室。)

① 参加申込書(様式3-1) 2部(原本1部、コピー1部)

※印は代表者印(学校においては公印)とします。

② 自由曲の指揮者用総譜から、以下の3点が確認できる部分のコピー 1部

・曲名原題Spelling、作曲者・編曲者Spelling、楽譜の© Copyright=著作権所有者以上3点が確認できるものをA4判にコピーし添付してください。

③ 演奏利用明細書 1部

・開催日(参加(出演)する月日を記入)

・会場名(盛岡会場は岩手県民会館、一関会場は一関文化センターと記入)

④ 入場券申込書兼送金報告書(様式3-2) 2部(原本1部、コピー1部)

⑤ 演奏・編曲許諾書(コピー) 1部(該当する団体のみ添付して下さい)

★書類提出先

〒020-0835 盛岡市津志田26-17-1 県立盛岡第四高等学校内

岩手県吹奏楽連盟 似内 聖

※入金が無い場合や期限までに書類が提出されない場合、参加を認めないことがあります。

17 宿泊・弁当について……添付「宿泊及び弁当申込のご案内」をご熟読下さい。

JTB盛岡支店(tel:019-651-7474 fax:019-623-4425)が担当します。

18 練習場について

大会事務局では準備いたしません。なお、会場周辺での音出しは厳禁です。

19 駐車場について

(盛岡会場):駐車場はありますが、バス・トラックの駐車はできません。各団体毎に業者と相談の上、駐車場を確実に確保し、大会に参加してください。また、団員のバスの乗降、楽器の積み降ろしは、2次案内で示された場所で行ってください。

(一関会場):駐車場はありません。トラックは会館正面に待機していただきます。バスは各団体で確保した駐車場または大会事務局が手配した駐車場(30日(土)は一関運動公園駐車場、31日(日)は一関総合体育館臨時駐車場)に必ず移動していただきます。詳細は二次案内でお知らせします。

20 録音・撮影の禁止について

本大会は録音、写真撮影、ビデオ収録は禁止とさせていただきます。あらかじめ保護者

にも連絡を徹底しておいてください。なお、当日は本連盟指定業者が録音、写真撮影をいたします。

[指定業者] 録音(CD) マスターレコード
 写真撮影 フォトライフ、ステージフォト
 録画 ビジュアル・コースト

21 2次案内の送付について

全団体の諸手続きが完了し次第、2次案内(タイムテーブル・会場図・ステージ配置記入用紙他)を送付いたします。沿岸地区大会の開催にともない、送付は大会直前になることが予想されます。ホームページでも公開しますので、ぜひ、ご利用下さい。

22 注意事項（特に児童生徒の保護者に予め徹底していただきたいこと）

保護者徹底事項

岩手県吹奏楽連盟

- (1) 未就学児の入場はお断りします。
(親子室の存在その他ホールの構造に関わらず)
- (2) 入場券事前購入は、必ず顧問教諭を通して行ってください。
- (3) 写真撮影・録音・録画は禁止します。
- (4) 打楽器運搬補助（付添）としての入場には人数制限があります。顧問教諭と入念な打合せをしてください。
- (5) 大会会場までは公共交通機関をご利用ください。駐車場には限りがありますので駐車の際には係員の指示に従ってください。
- (6) ホール内での飲食は厳禁とさせていただきます。
- (7) 大会実行委員・大会係員の指示・連絡は必ずお守りください。

23 大会事務局 [大会総括（参加申込）]

岩手県吹奏楽連盟事務局 事務局長 似内 聖（にたない せい）
〒020-0835 盛岡市津志田26-17-1
事務局電話090-7563-8585 事務局FAX050-3488-2868
e-mail: suireniwate1963@gmail.com

[大会主管（盛岡会場）]

岩手県吹奏楽連盟盛岡支部 事務局長 佐々木 周
(紫波町立紫波第一中学校)

[大会主管（一関会場）]

岩手県吹奏楽連盟一関支部 事務局長 門 脇 悌 志
(一関第一高等学校)

※ 大会前々日までの問い合わせはFAXまたはEメールをお願いします。

- 記録に残りますし、双方の意思の齟齬を回避するうえでも、活用をお願いします。
- 電話でのお問い合わせは、夏季休業直前の多忙期につきお控え下さい。
- 会場(ホール)あて問い合わせはお控え下さい。
- 申込状況や二次案内送付状況など、参加団体への連絡事項は、公式サイト上でも随時行います。必ずご確認下さい。

★岩手県吹奏楽連盟公式サイト <http://www.ajba.or.jp/iwate/>

※ 大会前日・当日は、電話でお問い合わせ下さい。

- ただし、8月6日～7日の参加団体は、7月29日～7月31日までの期間中、FAX、メールを含め事務局への問い合わせはお控え下さい。
- 岩手県吹奏楽連盟事務局携帯電話090-7563-8585

全日本吹奏楽コンクール岩手県大会 実 施 規 定

第 1 章 総 則

- 第 1 条 この大会は「全日本吹奏楽コンクール岩手県大会」という。
- 第 2 条 全日本吹奏楽コンクール岩手県大会（以下、県大会）は、各地区予選で選出された吹奏楽団体が参加して毎年実施する。
- 第 3 条 岩手県吹奏楽連盟評議員会（以下、評議員会）は毎年 3 月末日までに、次年度の県大会について実施場所・日時などの必要事項を決定する。
- 第 4 条 選出母体となる地区は次のとおりとする。
- ① 県北地区（久慈・県北支部）
 - ② 盛岡地区（盛岡支部）
 - ③ 中央地区（花巻・北上・遠野支部）
 - ④ 県南地区（奥州・一関支部）
 - ⑤ 沿岸地区（宮古・釜石・気仙支部）

第 2 章 実施部門および参加人員

- 第 5 条 実施部門は次のとおりとし、参加団体は所属する部門に参加するものとする。
- ① 小学校の部
 - ② 中学校の部
 - ③ 高等学校の部
 - ④ 大学の部
 - ⑤ 職場・一般の部
 - ⑥ 中学校小編成の部
 - ⑦ 高等学校小編成の部
- ただし参加団体が複数の部門に重複して出場することは認めない。
- 第 6 条 各部門の参加人員は次のとおりとする。
- ① 小学校の部 ----- 自 由
 - ② 中学校の部 ----- 5 0 名以内
 - ③ 高等学校の部 ----- 5 5 名以内
 - ④ 大学の部 ----- 5 5 名以内
 - ⑤ 職場・一般の部 ----- 6 5 名以内
 - ⑥ 中学校小編成の部 ----- 2 5 名以内
 - ⑦ 高等学校小編成の部 ----- 3 0 名以内
- 指揮者はこの人員に含まれない。また、地区予選の申込み人員を超えることはできない。ただし、小学校の部で正当な事由があると県吹連事務局が判断した場合に限り、地区予選申込み人員を超える人員の参加を認める。
- 2 参加申込み書に記載した人員を超過した場合は失格とし、審査の対象としない。

第 3 章 資 格

- 第 7 条 参加資格は、岩手県吹奏楽連盟（以下、県吹連）に登録された団体で次のとおりとする。
- ① 小学校の部
構成メンバーは同一小学校に在籍している児童とする。
 - ② 中学校の部、中学校小編成の部
構成メンバーは同一中学校に在籍している生徒とする。（同一経営の学園内小学校児童の参加は認める。）ただし、小編成の部への参加は前年度 1・2 年生の部員が 2 0 名以内の団体、もしくは県吹連に認められた団体とする。なお、同一支部内の複数の中学校に在籍している生徒の合同を認める。
 - ③ 高等学校の部、高等学校小編成の部
構成メンバーは同一高等学校に在籍している生徒とする。（同一経営の学園内小学校児童・中学校生徒の参加は認める。）ただし、小編成の部への参加は前年度 1・2 年生の部員が 2 5 名以内の団体、もしくは県吹連に認められた団体とする。なお、同一支部内の複数の高等学校に在籍している生

徒の合同、あるいは、同一支部内の中学校と高等学校に在籍している生徒の合同を認める。

- ④ 大学の部
構成メンバーは同一の大学に在籍している学生とする。
- ⑤ 職場・一般の部
（職場）
同一経営の会社、工場、事務所、官公庁（それぞれグループ企業・団体も含む）などで経営者または組合などの認可を得て設立されている団体であって、構成メンバーはその勤務先に勤務しているものとする。
（一般）
団体構成メンバーは次の第 8 条に該当しない限り自由とする。ただし、職業演奏家の参加は認めない。

第 8 条 同一奏者が、その年度内に二つ以上の団体に重複して出場することは認めない。

- 2 課題曲・自由曲は同一メンバーが演奏しなければならない。ただし楽器の持ち替えは認める。

第 9 条 指揮者の資格については次のとおりとし、課題曲・自由曲とも同一人が指揮するものとする。

- ① 小学校の部、中学校の部、高等学校の部、中学校小編成の部、高等学校小編成の部、当該学校の教職員・生徒、または、その学校長の委嘱を受け常時その団体を指導している者とする。
- ② 大学、職場・一般の部
制限しない。

- 2 同一指揮者が同一部門の二つ以上の団体に重複して指揮することは認めない。

第 10 条 参加団体の資格に疑義あるときは出場を停止または入賞を取り消すことができる。

第 4 章 演 奏

第 11 条 出場団体は、次の楽曲を演奏して審査を受けるものとする。

- ① 小学校の部 ----- 自由曲のみ
- ② 中学校の部、高等学校の部、大学の部、職場・一般の部
----- 課題曲と自由曲 1 曲
- ③ 中学校小編成の部、高等学校小編成の部
----- 自由曲のみ 1 曲

第 12 条 課題曲は全日本吹奏楽連盟で決定されたその年度のものをを用いる。

第 13 条 課題曲はスコアに指定された編成を尊重すること。

- 2 自由曲の編成は木管楽器・金管楽器・打楽器（擬音楽器を含む）とする。ただしコントラバス・ピアノ・チェレスタ・ハーブの使用は認める。

- 3 自由曲中のスカット（声）は認める。

第 14 条 演奏する楽曲は地区予選に用いたものとする。

第 15 条 著作権の存在する楽曲を編曲して自由曲とする場合は、事前に著作権者から編曲の許諾を受けねばならない。この許諾を受けないでコンクールに出場することは認めない。

第 16 条 演奏時間は次のとおりとする。

- ① 小学校の部、中学校小編成の部、高等学校小編成の部 ----- 自由曲の演奏開始から終了まで 7 分以内
- ② 中学校の部、高等学校の部、大学の部、職場・一般の部 ----- 課題曲の演奏開始から自由曲の終了まで 1 2 分以内

- 第17条 演奏時間が超過した場合は審査の対象としない。
2 演奏規定に違反する事項が確認されたときは、入賞を取り消す。
- 第18条 部門順序と出演順序はその年度の評議員会において決定する。

第5章 審査・表彰、県代表

- 第19条 県大会の審査員は評議員会で選出し、会長がこれを委嘱する。審査員の数は原則として7名とする。
- 2 審査方法は評議員会の定める審査内規による。
- 第20条 表彰は各部門ごとに金賞・銀賞・銅賞のいずれかを贈る。また、全日本吹奏楽コンクール東北大会に推薦された団体に副賞としてトロフィーを贈る。
- 第21条 金賞受賞団体の中から次の数の団体を全日本吹奏楽コンクール東北大会（以下、東北大会）に推薦する。
- | | | |
|----------------------|------|----|
| ① 小学校の部 | ---- | 3 |
| ② 中学校の部、高等学校の部 | ---- | 各4 |
| ③ 中学校小編成の部、高等学校小編成の部 | ---- | 各2 |
| ④ 大学の部 | ---- | 1 |
| ⑤ 職場・一般の部 | ---- | 2 |
- ただし、中学校の部、高等学校の部、中学校小編成の部、高等学校小編成の部において複数の団体の合同で出場している場合は推薦の対象としない。

第6章 地区代表

- 第22条 県大会に各地区より出場する団体数（以下、地区代表数）の合計は、概ね次の数とする。
- | | | |
|-------------|------|----|
| ① 小学校の部 | ---- | 14 |
| ② 中学校の部 | ---- | 24 |
| ③ 高等学校の部 | ---- | 20 |
| ④ 大学の部 | ---- | 4 |
| ⑤ 職場・一般の部、 | ---- | 8 |
| ⑥ 高等学校小編成の部 | ---- | 12 |
| ⑦ 中学校小編成の部 | ---- | 20 |
- 2 地区代表数は部門別に定めるものとし、次の比例配分枠とシード枠の合計の数とし、その代表数は評議員会で決定する。
- ① 比例配分枠：地区予選出場団体数に定数を乗じて算出した数（小数点以下四捨五入。ただし、1に満たない場合は1とする）
- ② シード枠：昨年度の東北大会に当該地区から出場した団体の数
- 3 地区代表数確定のため、各主管支部事務局は県大会前期日程開催七週間以前に地区予選の申込みを完了し、部門別の参加団体数を速やかに県吹連事務局に報告する。
- 第23条 地区予選は県大会前期日程開催日の三週間以前に実施する。各地区予選主管支部は、予選終了後速やかに地区代表団体を県吹連事務局および大会主管支部事務局に報告する。
- 第24条 県大会出場に要する費用については参加団体の負担とする。

第7章 その他

- 第25条 県大会実施にあたって評議員会が必要と認めた場合は、共催または後援団体を持つことができる。また、賞状・賞品の贈与を受けることができる。
- 第26条 県大会実行委員会は県吹連役員と主管支部の役員で構成する。また、近隣支部の役員を加える

ことができる。

- 第27条 その他開催上の細目については実行委員会が定める。
- 第28条 この規定は評議員会の議により改定することができる。

第8章 付 則

本規定は、平成22年2月27日より施行する。

全日本吹奏楽コンクール岩手県大会
審 査 内 規

- 第1条 この内規は全日本吹奏楽コンクール岩手県大会実施規定第19条に基づき審査及び判定について定めるものである。
- 第2条 審査員は課題曲と自由曲（小学校の部、中学校小編成の部、高等学校小編成の部は自由曲のみ）を、技術・表現の2項目について、それぞれ10点満点とし10段階で評価する。
- 第3条 審査結果の処理は、会長から委嘱された3名によって構成される判定委員会が行う。
- 第4条 判定委員会は審査員の評価を点数とし、一覧表を作成する。
- 2 一覧表から審査点を算出する。審査点は最高点および最低点をカットした5名の点数の総和とする。
- 第5条 審査点に基づき、各部門ごとに金・銀・銅賞の三段階にグループ分けを行う。
- 第6条 代表の選出方法は次のとおりとする。
- ① 審査点の高い団体から順に代表とする。
- ② ①で決着がつかない場合、審査員は代表候補となる団体にのみ順位をつけ、この順位点合計の小さい団体から順に代表とする。
- ③ 以上で決着がつかない場合は、審査員の投票とする。
- 第7条 審査一覧表は、県大会当日の表彰式後に各団体に配布する。

付記 本内規は平成22年2月27日より施行する。

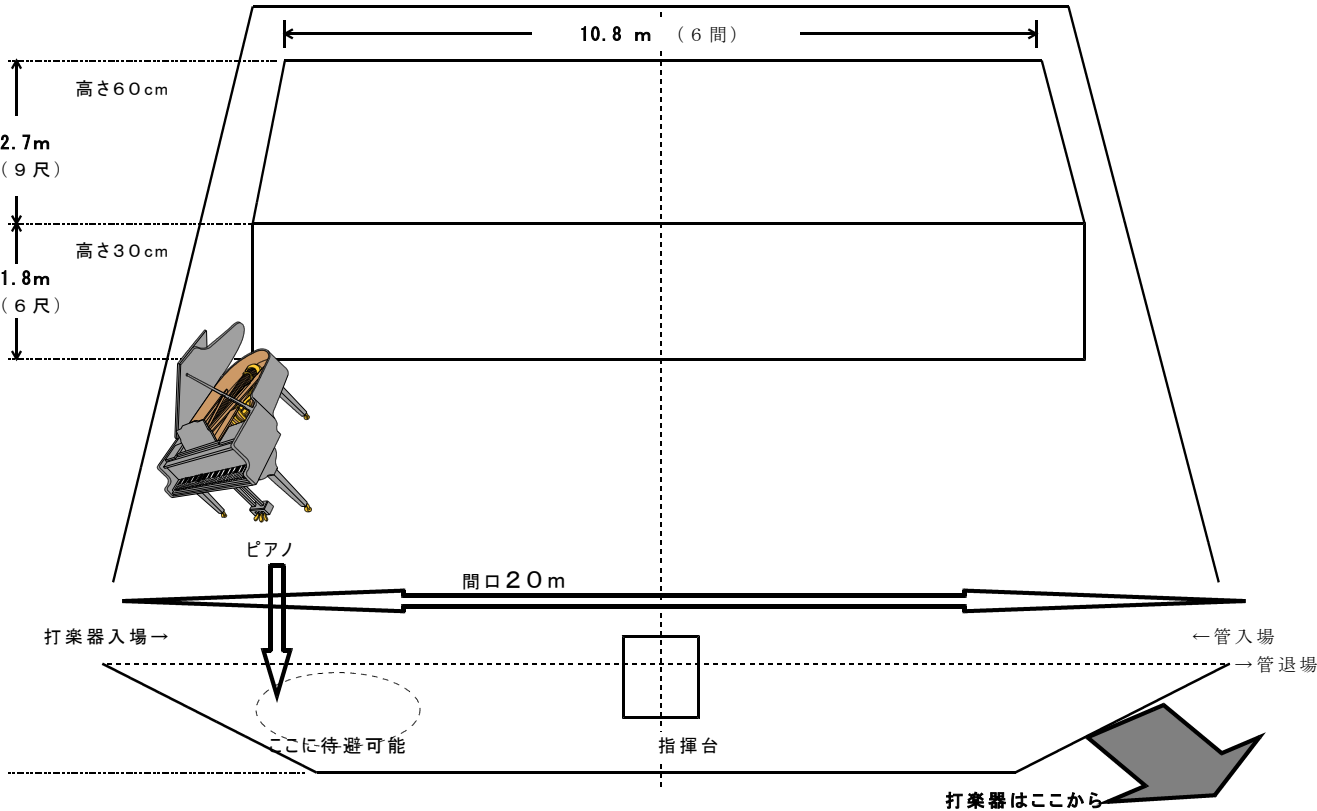
全日本吹奏楽コンクール第49回岩手県大会

岩手県民会館

ステージ・セッティング

主管：岩手県吹奏楽連盟盛岡支部

- 1
- ステージは、客席前部分のオーケストラ・ピット(3.5m分)を上げて使います。指揮台は、数センチ程度であれば前後に調整可能です。
- 2
- 打楽器演奏者は下手からステージに入り直ちにセッティングに入ってください。管楽器奏者は上手から入ってください。
- 3
- 演奏後は、全員上手から退場していただきます。打楽器は舞台から直接下におろします。
- 4
- ピアノは舞台下手の側版ワキにあります。ピアノを使わない団体で、どうしても邪魔である場合は、ピット部分に一時待避します。



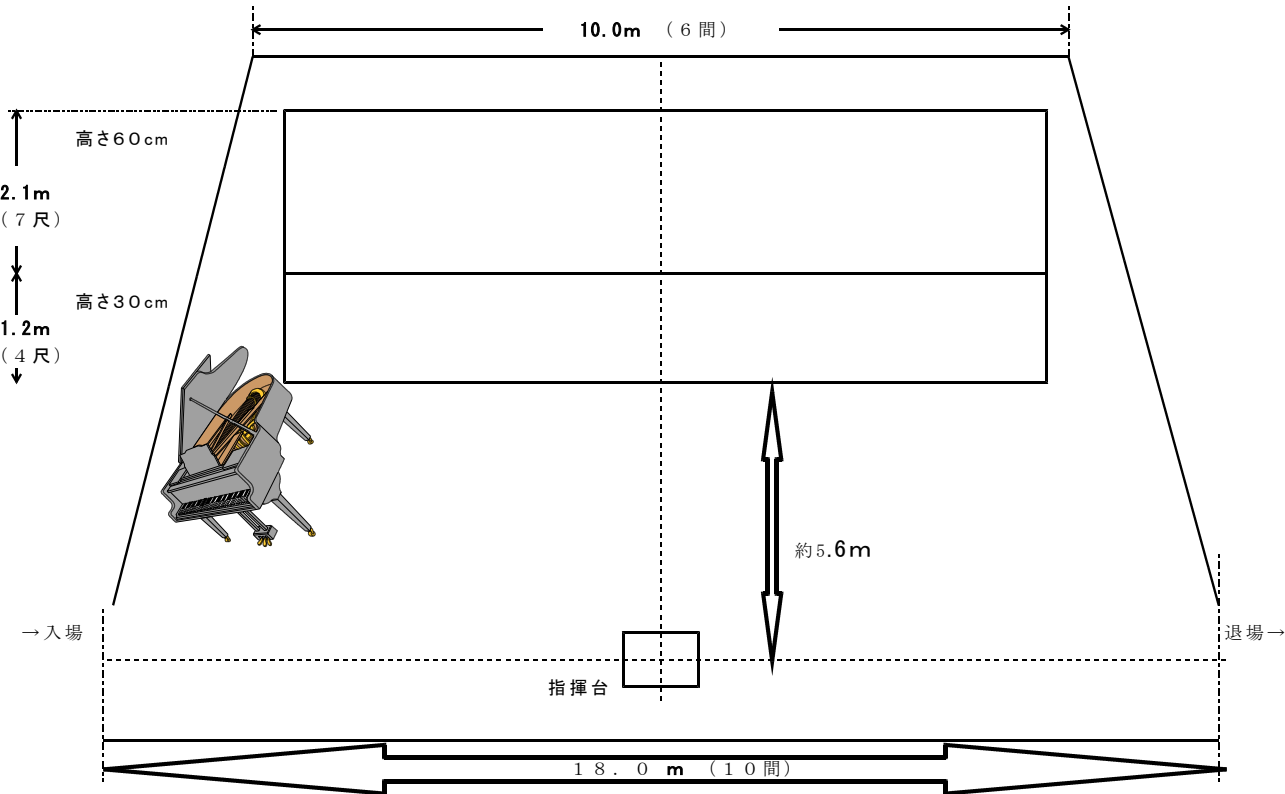
全日本吹奏楽コンクール第49回岩手県大会

一関文化センター

ステージ・セッティング

主管：岩手県吹奏楽連盟一関支部

注 ピアノは舞台下手でのみ使用可能です。ピアノを使わない団体で、どうしても邪魔である場合は、雛壇脇に一時待避します。雛壇の寸法は予定です。確定した寸法は、二次案内でお知らせいたします。



全日本吹奏楽コンクール第49回岩手県大会

中学校・高等学校の部 会場周辺図

【岩手県民会館周辺】



会場及び付近の導線について

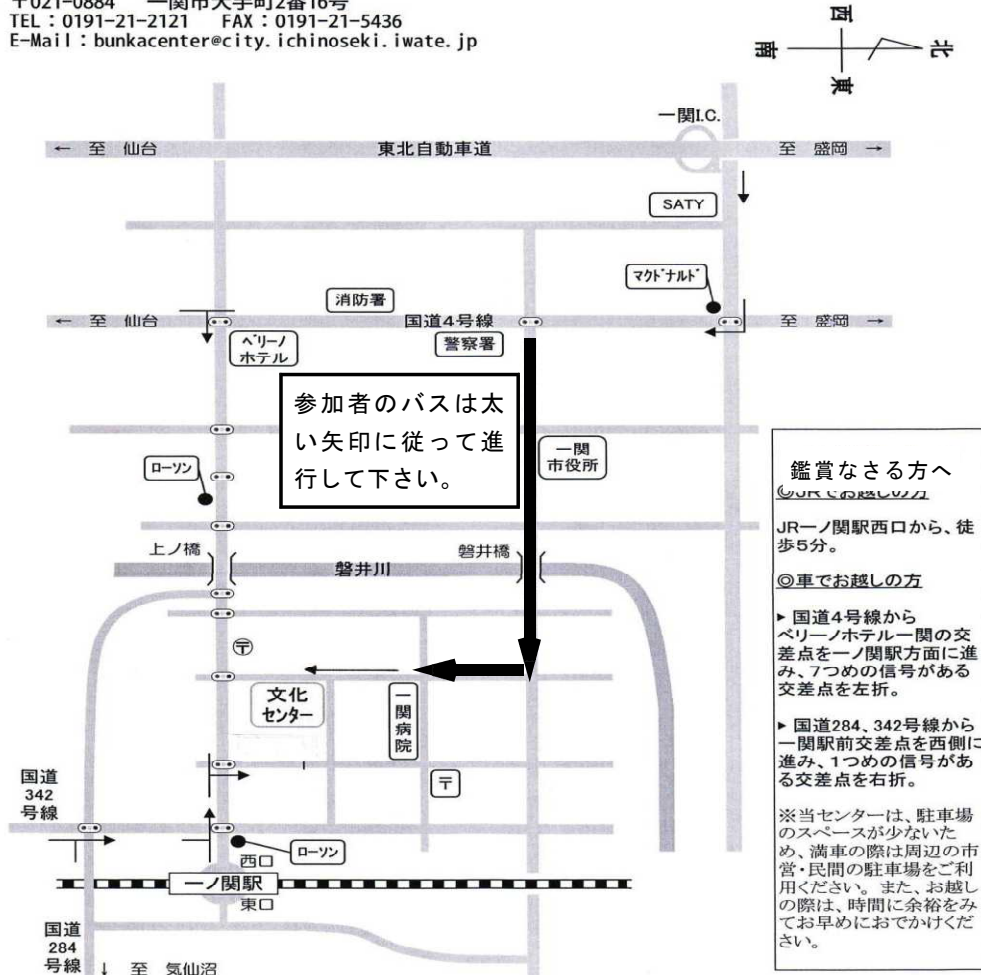
- (1) 楽器搬入口は正面入口です。楽器を積んだトラックの搬出入は、係の指示により停車し搬入してください。トラックに大きく団体名の表示をして下さい。会館前への入構時刻は、進行表の受付時刻とします。
- (2) 引率（代表）者は受付でリボン等を受領し、参加（出演）者に配布してください。参加（出演）者出入口では、リボンのチェックを厳重に実施させていただきます。
- (3) 演奏の終了後、進行表に記載している時刻に楽器積み込みを開始していただきます。写真撮影等スムーズをお願いします。
- (4) 中津川沿いはバスやトラックなどの停車は、道路交通法に関わらず、短時間とさせていただきます。また、各団体の応援バスなどの停車はお断りいたします。
- (5) 表彰式後の中津川沿いへのバスの停車時刻を、各団体毎に大会事務局で指定させていただきます（進行表参照）。指定時刻以外の停車は認めません。指定時刻外で乗車したい場合は、上の橋観光バス駐車場などをご利用下さい（有料・予約必要）。

全日本吹奏楽コンクール第49回岩手県大会

中学校小編成・高等学校小編成・小学校・一般の部会場周辺図

一関文化センター 交通案内

〒021-0884 一関市大手町2番16号
TEL: 0191-21-2121 FAX: 0191-21-5436
E-Mail: bunkacenter@city.ichinoseki.iwate.jp



鑑賞なさる方へ

（JR一関駅西口から徒歩5分）

JR一関駅西口から、徒歩5分。

③車で越しの方

▶ 国道4号線からベリーノホテル一関の交差点を一関駅方面に進み、7つめの信号がある交差点を左折。

▶ 国道284、342号線から一関駅前交差点を西側に進み、1つめの信号がある交差点を右折。

※当センターは、駐車場のスペースが少ないため、満車の際は周辺の市営・民間の駐車場をご利用ください。また、お越しの際は、時間に余裕をみてお早めにおでかけください。

会場および付近の導線について

- (1) 楽器搬入口は正面入口です。楽器を積んだトラックの搬出入は、係の指示により停車し搬入してください。トラックに大きく団体名の表記をお願いします。
- (2) 引率者は受付でリボン等を受領し、参加者（出演）者に配布してください。参加（出演）者出入口では、リボンのチェックを厳重に実施させていただきます。
- (3) 演奏の終了後、打楽器は会館裏で一旦仮積み込みを行い、会館正面に移動後、解体梱包と管楽器の積み込みを行います。写真撮影等スムーズをお願いします。
- (4) 参加（出演）者を送迎するバスは、会館の西側が乗降場となります。4号線方面からくる場合、一関警察署を曲がり、磐井橋を渡って右折し、文化センター北側（一関病院側）から進行して来て下さい（図中の太い→の通り）。乗降場所は一時停車のみで、待機のための停車はできません。また、表彰式後は混雑が予想されます。係員の指示に従って停車して下さい。
- (5) 会館の敷地内に進入できる車両は、楽器運搬用の車両（許可車）のみです。参加者の送迎や鑑賞される方の車両は進入できません。一般の方は市内の有料駐車場などをご利用下さい。参加者の送迎用のバスは各団体で手配した駐車場が大会事務局が確保している駐車場（30日は一関運動公園駐車場、31日は一関総合体育館駐車場）に移動して下さい。